

2 学年 3 組 英語科学習指導案

日 時 平成 28 年 10 月 21 日

場 所 2 年 3 組教室

指導者 尾形 浩一

生徒数 男子 16 名 女子 16 名 計 32 名

1 題 材 Unit 5 Universal Design

2 目 標

- (1) 接続詞 if, that, when, because を用いて、身近な話題について積極的に自分の意見や考えを相手に伝えようとする。 (コミュニケーションに対する関心・意欲・態度)
- (2) 接続詞 if, that, when, because を用いながら、根拠や理由を明らかにして自分の意見や考えを話したり、書いたりすることができる。 (表現の能力)
- (3) 接続詞 if, that, when, because が使用される英文を聞いたり読んだりして、その内容や相手の伝えたいことを理解することができる。 (理解の能力)
- (4) 接続詞 if, that, when, because の形、意味、用法を理解することができる。また、ユニバーサルデザインの意味を考え、どんな点が便利か身近な施設での採用例に目を向けることができる。

(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 単元について

単元で扱われる文法事項は、接続詞 if 「もし～ならば」、that 「～ということ、～であること」、when 「～のとき、～するとき」、because 「なぜならば～だから」である。すでに and や but などの接続詞は既習事項だが、これらの接続詞 (if, that, when, because) は、すぐ後に主語・動詞の語順になるため複雑な構造をしており、学習段階に応じた指導が必要となってくる。

しかし、この接続詞が使えるようになると、例えば今まで It is sunny. までしか表現できなかったことが、if を使うことにより If it is sunny tomorrow, I will play tennis. など、条件を限定して表現すること、また I think (that) communication is important. などと自分の思いや考えを加えて表現したりすることができるようになる。表現の幅が広がる分、ドリルなどのスモールステップを繰り返しながら定着を図っていききたい。

本題材はユニバーサルデザインの説明から始まり、車いす体験、そして実際の商品や身近な地域でのユニバーサルデザインの調査、調べたことの発表へと発展していく内容である。Unit 5 のまとめで、ユニバーサルデザインへ目を向け、自分たちの生活につなげていくようにしたい。また、単元末の活動として、既習事項を使って ALT に高島町のおすすめのスポットを紹介する活動を行うことを単元の最初に提示することで、生徒が学習の見通しをもち、主体的に毎時間の学びをつなげられるようにしていきたい。

(2) 生徒について

男女ともに仲良く、とても明るくて活発な生徒が多い。また、思いやりがあり生徒も見られ、協力し合いながら活動したり、学習では解らないところを教え合ったりしながら課題に取り組んでいる様子もみられる。他の教科においても、興味・関心をもって授業に臨む生徒たちである。英語の授業においては、音読のときには声は少し小さめだが、発音に気を付けて読もうとする生徒、書くことに力を入れる生徒、日本語訳を得意とする生徒など、言語活動に取り組む姿勢は前向きである。しかし、苦手意識があり、単語は読めるが書くことができない、読むことも書くことも苦手という生徒も見られる。また、1年生からの内容が定着しておらず、2年生になり文法事項の難易度が高くなり、なかなかついてこられなくなっている生徒がいるのも現状である。この状況を考え、1年時の復習を授業に取り入れたり、ICTを効果的に活用したりしながら、現在学んでいる基礎・基本となる英文や単語の定着を図っていく必要がある。

(3) 指導について

考える力を育む教科指導改善研究会テーマ

「インタラクティブな活動を取り入れた授業の創造」

本時の指導は、学指導要領 2内容 (1) 言語活動 イ話すことの (イ)「自分の考えや気持ち、事実を聞き手に伝えること」を重点に指導する。単元の最後にグループで接続詞を用いて「高島町のおすすめのスポットをALTに伝える」活動を行うことで、工夫しながら相手に伝える力を身につけさせたい。また、その活動の中でALTからの質問に答えたりする活動を設定し、より対話的で深まりのある活動にしていく。

英語で表現することが苦手な生徒や声の小さい生徒もいるので、スモールステップで段階を踏み、基礎基本の定着を図りながら自信をもって表現できるように指導を進めたい。更には毎時間の授業の内容を明確にし、単元末のALTとの活動に繋がるようにしていく。そのために、生徒との対話を大切にしながら、なぜこの表現を学ぶのかを生徒たちが理解することができるように指導したい。そして生徒同士のかかわりを大切にし、自分の意見を伝えたい、相手の意見を聞きたいと思う場面の設定や、英語にたくさん触れる機会を多くつくっていききたい。また、生徒の関心や意欲を高め、視覚的に言語材料をとらえやすくするために、ICTなどを積極的に活用していく。

【視 点】

- ① 生徒の学習に対する関心や意欲を高めるための指導の工夫
 - ・単元末に「新しく来たALTに高島町のおすすめスポットを紹介する」という言語活動を設定することによって、生徒が必要感や意欲をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
 - ・各授業の言語活動では、生徒にとって身近な話題や場を設定し、相手に伝えたいという思いを大切にする。
- ② コミュニケーション能力を伸ばすためのインタラクティブな活動の工夫
 - ・ITEやALT、生徒同士でのかかわりの中で、英語で会話する場を多く設定する。
 - ・スモールステップを積みながら自信をつけさせると共に、単なるドリルではなく、身近な場面や話題を設定し、スキルアップにつなげていく。
- ③ 視覚的に生徒の理解を深めるためのICTの活用の工夫
 - ・視覚的に情報を提示することで、生徒が状況や場面をイメージしやすいようにする。
 - ・ICTを活用し視覚的な情報の与え方を工夫することで、生徒の活動に対する意欲を高めるとともに基礎基本の定着につなげていく。

4 指導計画（全9時間）

時	主な学習活動	評価規準【評価の観点（評価方法）】
1 5-1	<ul style="list-style-type: none"> ・カタログの内容の把握を把握する。 ・接続詞 if を用いて、場面を考えながら英文を作って会話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カタログの内容を読み取ろうとしている。 【関心・意欲】（観察） ・グループで場面を想定しながら話し合いを持ち、積極的に if を用いた文を作ることができる。 【表現】（学習プリントへの記入状況・グループ学習への取り組み状況）
1 5-2 （本時）	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 that の文を用いた形、意味、用法について学ぶ。 ・接続詞 that（I think that～）の表現を用いて、身近な話題についてグループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 that を用いて積極的に練習やグループでの活動に取り組んでいる。 【関心・意欲】（取り組みの状況） ・接続詞 that を用いて自分の思いや考えを相手に伝えることができる。 【表現】（グループ学習への取り組み状況・発表の内容）
1 5-2	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文を使い、接続詞 that の入った文を理解する。 ・教科書の本文をペアになって読んだり、内容を把握したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を文のかたまりごとにとらえ、英語らしい発音をしながら音読することができる。 【表現】（机間指導） ・本文の内容を理解することができる。 【理解】（ノートへの記入状況）
1 5-3	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 when の形、用法について学ぶ。 ・教科書本文の内容を聞いたり、読んだりし、内容を理解する。 ・車椅子での体験談を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の内容を理解することができる。 【理解】（ノートへの記入状況） ・接続詞 when の形、意味、用法を理解し、ノートなどを活用しながら、英文を書くことができる。 【知識・理解】（ノートへの記入状況）
1 5-3	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 when の形や用法を復習する。 ・グループで身近な場面を想定して、when を用いて英文を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントを使用し、既習事項 when の使い方を理解することができる。 【知識・理解】（学習プリントへの記入状況） ・自分で作った英文をグループの中でお互いに伝えることができる。【表現】（机間指導）
1 5-4	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 because の意味や用法について学ぶ。 ・教科書本文を聞いたり、音読したりし、内容を理解する。 ・ユニバーサルデザインについてどんな点が便利なのかを考えると共に身近な施設での採用例に目を向ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 because の意味や用法を理解することができる。【知識・理解】（学習プリントへの記入） ・ノートなどに意味を記入しながら、because を含む本文の内容を理解することができる。【理解】（ノートなどへの記入状況）
1 5-4	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 because を用いて、身近な話題に対して理由をつけながら会話する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 because を用いて、自分の好きなことや趣味などを相手に伝えることができる。【表現】（グループ活動への取り組み状況・発表の内容）

	<ul style="list-style-type: none"> 既習の接続詞の復習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習プリントを使用し、接続詞 if, that, when, because の用法が理解できる。 【知識・理解】(学習プリントへの記入状況)
1 5-5	<ul style="list-style-type: none"> ALT の自国のおすすめの場所、食べ物などについての紹介を聴く。 ALT に「高島のおすすめのスポットを伝える」原稿を書く 	<ul style="list-style-type: none"> ALT の説明を基参考に、自分たちで考え、接続詞や既習事項を用いて英文を書くことができる。 【表現】(学習プリントへの記入状況)
1 5-5	<ul style="list-style-type: none"> 『Adah 先生に高島町のおすすめのスポットを教えよう』 グループをつくって ALT にプレゼンテーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や既習事項を用いながら、積極的に自分の思いや考えを伝えている。【関心・意欲】(観察) 接続詞や既習事項を用いながら、自分の思いや考えを工夫して伝えることができる。 【表現】(発表場面)

本時の指導

(1) 目標

- ① 接続詞 that (I think that～) を用いて、グループで積極的に活動に取り組もうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ② 接続詞 that を用いて自分の考えや思いを伝え、さらにもう 1 文理由を付け加えて意見を交換することができる。
(表現の能力)

(指導過程)

	学習活動	○主な発問 ・指示 □生徒の反応	△指導上の留意点 ☆評価 (方法)
導入 10分	<p>Greeting</p> <p>画像を見て、I think that～の導入を聞きながら、何が写っているかを発表する。 (金閣寺・巖島神社・寿司・お好み焼き)</p>	<p>T: Good afternoon, everyone. S: Good afternoon, Mr. Ogata.</p> <p>・T: Look at the screen. Now I' ll show you some pictures. What is this? (金閣寺) □SA: It' s Uesugi jinja! ○T: Oh, you think that it' s Uesugi shrine. □SB: Well..., it' s Kinkaku-ji. ○T: Oh, you think that it' s Kinkaku-ji temple. Yes, that' s right. We also call it Rokuonnji temple. ○T: Let' s check today' s target grammar point!</p>	<p>△生徒が興味をもって取り組むことができるように、クイズのような形式をとる。 △生徒と対話しながら I think that～の導入をする。</p>

展 開 35 分	本時の課題をつかむ。		
	<p>接続詞 that 「I think (that)~」(〜だと思う)を使って、高島の No. 1 スポットを紹介しよう！</p> <p>画像を使用して本時のゴールの姿のイメージをもつ</p> <p>基本文を練習する。</p> <p>パワーポイントを見ながら英文を練習する。</p> <p>グループになってそれぞれ先生方がおいしいと思う食べ物や面白いまたは有名だと思う場所について、I think (that) ~を使いながら意見を言い合い、メモを取る。(学習プリントを使用する)</p> <p>・イメージが湧かない生徒のために、3択にして話し合わせる。</p> <p>(例)</p> <p>What food does Mr. Sato like?</p> <p>1He likes ramen noodles.</p> <p>2He likes curry and rice.</p> <p>3He likes spaghetti.</p>	<p>T : OK. I will explain how to talk in the group. Please look at the screen.</p> <p>・T: Now, let' s practice today' s target sentence.</p> <p>“I think that sushi is delicious.</p> <p>*Students repeat.</p> <p>① I think that basketball is interesting.</p> <p>② I think that he likes danngo rice cake.</p> <p>③ I think that pizza is delicious.</p> <p>④ I think that everyone likes ramen noodles.</p> <p>⑤ I think that No.1 spot in Tokyo is Tokyo Sky Tree. (etc)</p> <p>・T: OK, everybody. Please make groups, and talk about our teachers in Tkahatata JHS. I' ll give you three sentences about each teacher. You have to talk about them, and please choose one. We have some rules. First you must speak English. And please use “I think that he/she likes ~ . Second, please take memos. After talking about topics, you have to make some sentences. (In groups)</p> <p>A: What food does Mr. Sato like? I think that he likes ramen noodles. I like ramen noodles, too.</p> <p>B: Really? I don' t like ramen noodles. I think that he likes curry and rice. He eats it deliciously at lunch time. How about you C?</p> <p>C: I think so, too. I think that he likes curry and rice. How about you D?</p> <p>D: I think that he likes spaghetti. Maybe he likes Italian food.</p>	<p>△シンプルな英文で練習する。</p> <p>△モデルに出てきた文や本時の活動で使えるような表現もここで練習しておく。</p> <p>☆接続詞 that を活用し、積極的に練習を行ったり、グループでの活動に取り組んだりしている。【関心・意欲】(取り組みの状況)</p> <p>△パワーポイントを使用し、わからない生徒がイメージを持つことができるようにする。</p> <p>△机間指導をしながらアドバイスを与える。</p> <p>△パワーポイントを使用し、わからない生徒がイメージを持つことができるようにする。</p> <p>△机間指導をしながらアドバイスを与える。</p>

<p>展 開 35 分</p>	<p>高畠町のおすすめスポットや食べ物などについて、グループで話し合おう。 (例) ・ What is No.1 in Takahata? ・ Who is famous in Takahata?</p>	<p>・ T : Now, we' re going to talk about No. 1 spot in Takahata! I want you to talk about delicious food, famous places, anything! Please remember the picture of teacher' s talk. (In the group) SA: I think that No. 1 is Akutsu hachiman shrine. It' s very old shrine and symbol of Takahata . SB : I see. I think that Takahata winery is very famous. My father drinks it every night.</p>	<p>☆理由などをつけ加えながら、I think that ~を用いて自分の思いや考えを述べることができる。 (表現)【観察】 △自分が有名と思うが場所や食べ物をワークシートに記入する時間をとる。</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<p>学習プリントにまとめる。 (まとめとふりかえり) (CAN-DOチェック・・・授業を通して感想、次時にむけて) あいさつ</p>	<p>・ Let' s try to write a sentence with 'that' . ① I think that he likes baseball. ② I think that ramen is No.1 in takahata. Let' s call it a day. Good-bye everyone. Good-bye, Mr. Ogata.</p>	<p>△パワーポイントを使用する。 ☆自己評価 (学習プリント) ☆感想・ふり返り (学習プリント)</p>

国際・情報科（国際分野「英語」）学習指導案

平成28年 12月15日（木）

指導者 T1: Akira Kawauchi (JTE)

T2: Ruth Byer (ALT)

1 学 年 第4学年

2 単元名 絵本を聞こう 『大きなかぶ THE VERY BIG TURNIP』

3 単元目標

- (1) 英語による指示や質問にしっかりと耳を傾け、学習した英語表現を用いながら、他者と楽しく話したりゲームをしたりしようとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) 絵本の読み聞かせを通して、登場人物のセリフや動物の鳴き声を表す英語表現に触れ、積極的に聞いたり話したりする。 【外国語への慣れ・親しみ】
- (3) 身近な物語には外国から来たものがあることに気づくとともに、世界の物語に興味を持って聞こうとする。 【言語や文化に関する気づき】

4 単元評価規準

- (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度
 - 指導者の指示や質問を理解し、自分のできる範囲で積極的に応じようとしている。
 - 登場人物や動物になりきって物語を演じようとしている。
- (2) 外国語への慣れ・親しみ
 - 絵本『大きなかぶ THE VERY BIG TURNIP』の読み聞かせを楽しみながら聞こうとする。
 - grandpa / grandma / girl / dog / cat / mouse / turnip / pull等の単語や What is the matter? / Look at this. / Wow! What a very big turnip! / Please help me/us. などの表現、動物の鳴き声等を知り、積極的に聞いたり話したりしようとする。
- (3) 言語や文化に関する気づき
 - 身近な絵本や童話などの物語には、外国から来たものがあることを知るとともに、世界の物語について興味を持って聞こうとする。

5 語彙・表現

【表現】

What is the matter?
Look at this.
Wow! What a very big turnip!
Please help me/us.

【語句】

grandpa / grandma / girl / cat / mouse / turnip / pull

6 本時の目標 (4時間扱い 本時1時間目)

- (1) 絵本『大きなかぶ THE VERY BIG TURNIP』の読み聞かせを聞きながら, What is the matter? / Look at this. / Wow! What a very big turnip! / Please help me/us. 等の表現や動物の鳴き声, grandpa / grandma / girl / dog / cat / mouse / turnip / pull 等の語句に触れ, リズムに乗って楽しみながら話そうとする。
- (2) 登場人物や動物に役割分担し, セリフや鳴き声を役になりきって演じようとする。

7 指導過程

時間	学習活動 T: 主な発問・指示 St: 予想される児童の反応	・: 留意点 ☆: 評価内容
1分	1 はじめのあいさつをする。 T1: Let's start English class. St: Good morning Ruth-sensei and Kawauchi-sensei. Ts: Good morning everyone.	・ 指示は基本的に英語で行う。簡単な英語表現(Classroom English)を用いる。
15分	2 絵本『THE VERY BIG TURNIP』の読み聞かせを聞きながら, 新しい英語表現や語句を知る。 - Tell a story - T2: Who is this? St: A grandpa. / A grandma. / A girl. T2: What animal is this? St: It is a dog. / It is a cat. / It is a mouse. T2: What is this? St: It is a turnip. T2: How many people are in this story? St: It is three. T2: How many animals are in this story? St: It is three.	・ スマートボードで絵本の絵を拡大して提示しながら読み聞かせをする。 ・ 意味理解よりも, 絵本を使いながら新しい英語表現や語句に触れさせていくことを重視していく。 ☆ 行動観察: 指示や質問を理解し, 自分のできる範囲で積極的に答えようとしているか。
10分	3 新出の英語表現と語句の練習をする。 T1: Let's practice the new words and phrases. T2: Repeat after me. grandpa / grandma / girl / dog / cat / mouse / turnip / pull Bow wow / Meow / Squeak St: grandpa / grandma / girl / dog / cat / mouse / turnip / pull Bow wow / Meow / Squeak T1: Great! Let's practice the new phrases next. T2: Repeat after me. What is the matter? Look at this. Wow! What a very big turnip! Please help me. Please help us. St: What is the matter? Look at this. Wow! What a very big turnip! Please help me. Please help us.	・ スマートボードに Flash cards を提示しながら, 新出の英語表現や語句を練習する。 ・ Verbs や Phrases については, 1つ1つを訳すことはせず, Gestures を用いて理解の助けとする。 ・ Great! や Good job! などのやる気を高めることば(Classroom English)を常にかけていくようにする。 ・ 2回くり返したり, 3語を連続して

	<p>T1: Do you remember the new words and phrases? Let's practice once again.</p>	<p>言ったりしながら, リズムよく練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 手拍子等を使って, リズムよく声を出させるようにする。 <p>☆ 行動観察: 新出表現を聞き取り, はっきりとした声で練習しているか。</p>
18分	<p><u>4 グループごとに役割分担をし, 最終場面を練習する。</u></p> <p>T1: You decide a role every group.</p> <p>T1: Let's practice the last scene together.</p> <p>What is the matter? Look at this. Wow! What a very big turnip! Please help us. OK. Are you ready? Yes! One, two, three. The grandpa pulls the turnip. The grandma pulls the grandpa. The girl pulls the grandma. The dog pulls the girl. The cat pulls the dog. The mouse pulls the cat. One, two, three! Yo-heave-ho!</p> <p>T1: Let's practice the last scene every group.</p> <p style="text-align: center;">- Activity -</p> <p>① グループごとに役割を決める。 ② クラス全体で声を合わせながら練習する。 ③ グループごとに練習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに役割を決め, セリフや鳴き声の練習をする。 子どもたちの活動の様子を観察し, 助言やヒントを与える。 <p>☆ 行動観察: グループの仲間と関わりながら, 登場人物のセリフや動物たちの鳴き声を意欲的に練習しているか。</p>
1分	<p>5 終わりのあいさつをする。</p> <p>T1: Great job! Today's English class is finished.</p> <p>St: Thank you Ruth-sensei and Kawauchi-sensei. Ts: See you next time.</p>	